

本日は、定例記者会見を開催しましたところ、
皆様にはご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、令和4年度9月補正予算（案）につきまして、
説明いたします。

令和4年度9月補正予算（案）の概要 1ページをご覧ください。

一般会計については、

補正額 3億8,283万9千円 を追加し、

補正後の予算総額は 152億3,158万7千円であります。

これは、対前年度同期との比較で、0.6%の増であります。

一般会計、特別会計等を合わせました今回の補正額は、

4億8,420万4千円の追加で、

補正後の総額は、276億6,982万9千円であります。

それでは、一般会計の概要について、説明いたします。

2 ページをご覧ください。

まず、総務費であります。

「新型コロナウイルス感染症対応社会的環境整備事業費」

1, 556万 5千円は、

公立園（保育所、認定こども園、幼稚園）のインターネット環境を整備するため、保育室等への無線アクセスポイントの整備や、タブレット端末の購入を行うほか、公立小・中学校及び公立園の保護者と職員の連携強化を図るため、相互連絡システムの導入等を行うものであります。

次に、民生費であります。

「地域医療介護総合確保基金事業補助金」 1億2, 884万円は、

地域包括ケアシステムの構築のため、介護施設等の創設を条件に行う広域型施設の大規模修繕・耐震化等を行う事業者に対し、補助金を交付するものであります。

次に、衛生費であります。

「新型コロナウイルスワクチン接種事業費」

1億3,981万4千円は、

新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチンの追加接種を行うものであります。

次に、教育費であります。

「公共施設LED照明導入事業費」 3,763万1千円は、

公共施設の老朽化対策、及び脱炭素化を推進するため、

体育施設の天草公園体育館、及びふるさとかもがたプラザに

LED照明を導入するものであります。

以上、一般会計の概要について説明いたしました。

次に、特別会計及び企業会計の概要について、説明いたします。

今回の補正予算では、「国民健康保険特別会計」、「介護保険特別会計」の

2つの特別会計と、「水道事業会計」、「下水道事業会計」の2つの

企業会計で予算計上しております。

「国民健康保険特別会計」につきましては、
人件費の増額を予算計上しております。

「介護保険特別会計」につきましては、
過年度歳入返還金の増額等を予算計上しております。

3 ページをご覧ください。

「水道事業会計」「下水道事業会計」につきましては、
営業費用の増額を予算計上しております。

以上が、9月補正予算（案）の概要です。

それでは、新型コロナウイルスワクチン接種事業について
お知らせいたします。

まず始めに、8月7日に起きたモデルナ社ワクチン

廃棄の件につきまして、市民の皆様にご心配をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

これは、ワクチンを保管していたディープフリーザーの温度管理に異常があり、ワクチンの品質が維持できなくなったため廃棄したのですが、近隣市町のご協力を得て新たなワクチンの確保はできていることから、市のワクチン接種事業は予定どおり進めておりますので、市民の皆様にはご安心いただきたいと思います。

それでは、新型コロナウイルスワクチン接種事業について、浅口市の現状と、オミクロン株対応ワクチン接種についてご報告します。

浅口市長定例記者会見配布資料の1ページをご覧ください。

4回目の接種につきましては、3回目接種から5か月を経過した18歳以上の方に対して接種券をお送りしています。

ただし、実際に接種できる方は、60歳以上の方、医療従事者や介護従事者、そして59歳以下の方では基礎疾患がある方になります。

8月26日までに7,347人の方が4回目接種を受けており、そのうち60歳以上の方については6,699人が接種を受けています。これは60歳以上人口の54.3%にあたります。

続きまして、オミクロン株対応のワクチン接種についてであります。現在のところ国からの通知を待っているところですが、市といたしましては、市民の皆様に迅速に情報提供をしてみたいと考えています。

こうした中、オミクロン株対応ワクチン接種は10月に開始予定との情報もありますので、本定例会に係る費用を予算計上しております。予算費目としては、接種券作成、ワクチン管理、集団接種会場の設置・運営、医療従事者派遣等の委託料が主なものです。

事業期間は今年度末までとし、接種者数は2回目接種を終了した方全員を見込んでいます。

タイムリーな情報提供を行うため、市のホームページ、メール、LINEを活用してまいりますので、ご覧いただきますようお願いいたします。

次に、9月補正予算（案）の、主な事業の詳細について説明いたします。

2 ページをご覧ください。

公共施設LED照明導入事業について、であります。

公共施設のうち、天草公園体育館及びふるさとかもがたプラザは、様々なスポーツ競技やイベントなどで、多くの皆様が利用しています。この度、公共施設等の脱炭素化の推進、及び照明設備の老朽化に伴い、省エネ効果が高いLED照明に取り替える工事を行います。

照明設備をLEDにすることで、適切な照度を確保し、利用者の利便性向上を図ることが期待されます。あわせて、LEDは水銀灯よりも消費電力が低く抑えられるため、省エネ効果も高く、長寿命であることから、ランニングコストの削減などを図ることができます。

3 ページをご覧ください。

ドローンを活用した教育の推進事業について、であります。

ドローンは、今後さらなる発展が期待されており、浅口市では、子どもたちがドローンをはじめとした先端技術に触れる機会を^{もう}設け、将来の可能性を広げるため、3つの事業を実施します。

1つ目は、市内の小学4・5・6年生を対象とした「ドローン体験教室」の実施です。放課後に各小学校でドローンの魅力や可能性を学び、実際に操縦も行います。

2つ目は、市内の中学生を対象とした「浅口ドローンクラブ」の実施です。ドローンを操縦するために必要な知識や法律、操縦技術について、全6回のプログラムで習得を目指します。プログラムの最後には、ドローンを用いて観光名所である三ツ山の撮影に挑戦します。

3つ目は、市内の小学5・6年生を対象とした「ドローンプログラミング教室」の実施です。プログラミング言語であるスクラッチを使って、プログラミングによるドローンの制御を体験し、プログラミング的思考や論理的に考えていく力を^{はぐく}育みます。

日程や申込方法、その他詳細につきましては、今後、市の広報紙や学校配布物にてお知らせします。

子どもたちが先端技術に触れる機会を積極的に^{もう}設けることで、将来の可能性が広がるきっかけになればと考えています。

4 ページをご覧ください。

ごみの減量・リサイクル啓発事業について、であります。

ごみ問題の解決は現在、社会的に重要な課題となっています。

そこで、市民一人ひとりに理解と認識を深めてもらうため、

令和3年に続き今年度も^{じんかい}塵芥収集車に標語をラッピングし、
ごみの減量やリサイクルの啓発を行います。

毎年、市内の小学校4年生に、ごみについて学ぶ授業の一環として、
標語の作成を依頼しており、今年度は「ごみの減量・リサイクルの推進」
をテーマに、標語コンクールを開催し、作品の募集を行います。

応募のあった中から優秀作品を選定し、選定された標語は^{じんかい}塵芥収集車に
ラッピングし、市民に周知していきます。

ラッピングした^{じんかい}塵芥収集車のお披露目を12月に行い、
あわせて優秀作品の展示を公民館等で行う予定であります。

次に、新型コロナウイルス感染症対策などについて、お知らせいたします。

6 ページをご覧ください。

第3弾「コロナに負けるな！あさくち生活応援券」事業について、であります。

浅口市では、新型コロナウイルス感染症対策として、これまで2度にわたり、全市民を対象に市内のお店で利用できる応援券の配付を行いました。

昨今の状況を見ましても、いまだ、新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、市内の事業所は大きな打撃を受けており、また、ウクライナ情勢に伴う原油価格や物価等の高騰は、市民の家計にも影響を及ぼし、地域経済の回復を妨げかねない状況です。

こうしたことから浅口市では、3回目となる応援券の配付を実施いたします。今回も、全市民を対象に、一人当たり5,000円分の応援券を配付し、市民の家計や地域経済の下支えを行います。対象者は約34,000人で、発行総額は約1億7,000万円を見込んでいます。

事業の概要ですが、申請は不要で、8月1日時点の住民基本台帳から対象者を^{ちゅうしゅつ}抽出し、世帯ごとに対象者分を^{いっかつ}一括して8月下旬に簡易書留郵便にて発送し、今月末までに配達を完了します。

使用期限は令和4年10月1日から来年1月31日までの4か月間となります。

また、券が利用できるお店につきましては、市内の事業所から募集しており、現時点で約170店舗となっています。

本事業により、市民の皆様の家計支援につなげることはもとより、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ地域経済及び市民生活の支援につながることを期待しています。

7ページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策修学旅行取消料等支援事業について、であります。

新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により、やむを得ず^{きゅうきょ}急遽、小中学校の修学旅行が予定していた日程で実施できず、延期せざるを得なくなったり、感染等により児童生徒の参加が難しくなったりする場合がございます。

こうしたことから、感染状況により修学旅行が延期となった場合、あるいは感染して欠席した場合等で、その取消料等が必要になった際には、保護者の経済的負担の軽減を図るため、修学旅行取消料等の負担に対する支援を行うこととします。

次に、主な事業の進捗状況などについて説明いたします。

8ページをご覧ください。

燃料油等^ゆ価格高騰対策補助金交付事業について、であります。

燃料油等^ゆの価格高騰の影響を受ける浅口市内事業者の負担軽減を図るため、事業活動において燃料油等^ゆを使用する事業者に対し、補助金を交付しています。

対象者は、市内に本社・本店など主たる事業所を有する法人、または市内に住所を有する個人事業主です。

対象となる燃料油等^ゆは、令和3年6月から令和4年5月までの任意の連続する3か月間に事業用途で購入・使用した重油、ガソリン、軽油、灯油、プロパンガス、オートガス、電気、その購入量に、市が定めた油種ごとの単価を乗じた金額を補助金として交付します。油種ごとの単価は広報あさくち8月号に掲載のとおりで、補助金額は最大10万円で、3万円未満の場合は対象外です。

8月1日から申請受付を開始しており、締め切りは9月30日です。申請窓口は浅口商工会本部となっています。

本補助金により、市内事業者の事業継続を支援したいと考えています。

1 1 ページをご覧ください。

市立幼稚園の3年保育実施について、であります。

現在、市立幼稚園3園のうち、金光幼稚園につきましては、
3歳児からの3年保育を実施しており、鴨方東幼稚園
及び鴨方西幼稚園については、4歳児からの2年保育を実施しています。

幼稚園の3年保育につきましては、幼稚園への入園が
減少傾向にある中で、保護者や地域の方から、すべての幼稚園で
実施の要望も多く、また、3年間を地域の幼稚園を利用することで、
幼稚園への利用拡大につながると期待されていることから、
令和5年度からすべての幼稚園で3年保育を実施することとして、
現在準備を進めております。

幼稚園では、保護者の保育ニーズに対応した保育サービスとして、
全ての園で専任の職員を配置し預かり保育を実施しています。
3歳児保育の受け皿の拡充を図り、幼稚園の利用促進に向けた取組を
引き続き実施してまいります。

なお、新入園児募集の受付は、令和4年10月3日から
開始する予定であります。

12ページをご覧ください。

あさくち就職フェアについて、であります。

浅口市内の企業による合同の就職説明会、「あさくち就職フェア」についてご案内いたします。

開催日時は令和4年10月29日（土）13：00～16：00、会場は浅口市寄島公民館にて開催いたします。

参加企業については、応募締切日を9月16日（金）として現在募集中です。応募状況については、今後、市のホームページで企業名等をお知らせする予定です。

また、参加者である求職者へは、広報紙などを通じて、少しでも多くの方に参加していただけるよう周知します。

この就職フェアをきっかけに、市内企業の人材確保を支援するとともに、市内への人口流動や、定住促進につながることを期待しております。

13ページをご覧ください。

災害時における支援協力に関する協定の締結について、であります。

大規模な災害が発生し、避難所での生活が長期化する場合、避難所の住環境の整備、避難者の体調管理など、避難所運営は大変重要な課題だと考えております。

このような中、昨日、岡山県西部ヤクルト販売株式会社様と、災害時における支援協力に関する協定を締結いたしました。これにより災害時にはヤクルトやジュース等の飲料をはじめとした、物資供給の協力が得られることとなり、市民生活の早期安全や、避難者等の体調管理を図ることができます。

なお、岡山県西部ヤクルト販売株式会社様におかれましては、自治体との支援協力協定は浅口市が県内で初めてであります。市としましても、本協定の締結はとても心強く、大変有意義なものであり、今後も安心安全なまちづくりに努めてまいりたいと考えております。

私からは以上です。